

【山崎主宰の俳句】

秋へ

山崎 聰

光るなり八月ゆめもまぼろしも
平穏無事か原爆の日はとうに過ぎて
野のほとけ山のほとけも夕焼けて
みずうみはるかかくしてわれら秋へ
十三夜たとえばユーフラテスあたり
いわし雲 東京駅にあの二人
蛇笏の忌コスモス揺れるばかりにて
上州のまつすぐな道木の榎櫛
すこしだけ秋のにおいも雨のあと
やや寒く大東京のいしだたみ